

第6回 日本社会人選手権水泳競技大会監督者会議資料

1 競技について

- (1)本競技会は、2023 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2)競技は、予選・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3)女子 800m自由形・男子 1500m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間帯に行う。それ以外の種目は、予選・決勝を行う。ただし、予選参加者が8名以下の場合は、直接決勝とする。
- (4)決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者(棄権チーム)が出たときは、次点上位から順次出場権を与える。
- (5)決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合はスイムオフを行う。リレー種目のスイムオフは、予選と同メンバー・同オーダーとする。
- (6)補欠は2名(2チーム)とし、補欠が同記録で複数いる場合は抽選を行う。
- (7)補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は、2名とする。
- (8)招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (9)予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始 20 分前(9:10)までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出を行わなかった場合は、棄権料個人3,000 円、リレー競技 5,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000 円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、予選競技終了後1時間以内に、棄権料個人 3,000 円、リレー 5,000 円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。
女子 800m・男子 1500m自由形予選は、組み換えを行うことがあるので、監督者会議終了時に届け出ること。
- (10)競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。(決勝1位の選手も同様)
- (11)800m自由形・1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (12)公式計時SEIKOによる計時バックアップは、半自動計時装置を使用する。
- (13)ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (14)選手紹介は、予選は各レーンで、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、所属名の通告を受けてから入場すること。
- (15)リレーオーダー締め切りは、予選9:10、決勝 13:00 とする。
- (16)本競技会は上訴審判団を設置する。
- (17)本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること。

2 表彰について

- (1)1 位から3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4位から8位に賞状を授与する。
- (2)賞状の贈呈は、選手受付で行う。

3 全体スケジュール

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
11 月 10 日(金)	公式練習日	13:00	練習時間 13:00 ~ 18:00				18:30
11 月 11 日(土)	1日目	7:30	9:30	12:55	14:00	17:50	18:35
11 月 12 日(日)	2日目	7:30	9:30	12:50	14:00	16:40	17:35

開会式 11 月 11 日(土)9時 15 分～ 閉会式 11 月 12 日(日)決勝終了後

4 プールの使用について

- (1)メインプール

- ① 水深は2m、水温は 27.5℃に設定する。
- ② 練習は、競技開始 15 分前までとする。1日目は開会式があるため 20 分前とする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝(タイムレース決勝最終組を含む)の出場者とする。
- ④ 練習時のレーン設定
0・9レーン：ダッシュレーン、1レーン：ペースレーンとする。ただし、0レーンは折り返し側からのスタート、9レーンはスタート側からとし、一方通行とする。
- ⑤ 公式スタート練習は、公式練習日、大会当日とも行わない。
- ⑥ パドル、コード類の使用は禁止する。

(2) サブプール

- ① 水温は 27.5 度に設定する。
- ② ダッシュレーンは設定しない。
- ③ パドル、コード類の使用は禁止する。
- ④ ホイッスルの使用は禁止する。

5 施設への入館・退館について

- (1) 本大会は、ADカードを持っている選手・付添者は全館、ADカードを持っていない一般観客は 2 階観覧席以外は入館できない。
- (2) 観覧席では選手席・付添席と一観覧客席のエリア設定は行わない。(全席自由)動線を守ること。
- (3) 選手・付添者と一般観客の入退場は、2階入口とする。

6 施設の使用について

- (1) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退場に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償(3,000 円)にて再発行を受けること。ただし管理者、付添者のADカードは再発行しない。
- (2) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (3) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (4) マッサージベッドは、マッサージエリアに1チームにつき1台置くことができる。
- (5) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。
- (6) 更衣室は更衣のみの使用とし、更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。

7 注意事項、その他

- (1) 競技終了後、インタビューの要請を受けた選手は、取材を受けること。
- (2) 公式掲示板を、2階入口付近に設置する。
- (3) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (4) プログラム(予選スタートリスト入り)は、1部 1,000 円、決勝スタートリストは、1部 200 円とする。
- (5) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。

① SEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)

② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)